

令和6年度 北海道善行賞(優良ひとり親家庭)表彰



鈴木知事からの表彰状
左から畑理事長とお母さん

函館市母子寡婦福祉会

若山 恵美

この度、北海道善行賞受賞の連絡を頂き、表彰式では道庁知事会議室にて鈴木知事にお会いする事が出来て大変貴重な経験をさせていただきました。受賞式へは今まで子育てに沢山協力してくれた母も同席してもらい、少しは親孝行できたかなと思っております。

離婚してしばらく経ち、長男が高校進学する時から、函館母子寡婦福祉会へ入会し、4人の息子達みんなが奨学金の支援を頂き、とても助かり、大変感謝しています。4人の息子達を育てる為、19年間学校給食の仕事しながらアルバイトもしました。息



函館市消防団員として「函館市消防初出初式」にて函館初の手乗り梯子参加、右手が筆者

子達は私の料理よりも母が作ってくれた料理と学校の給食で大きくなりました。私が息子達の相談に乗ってあげれない時は妹夫婦に話を聞いてもらっていつもお世話になりました。片親家庭はPTA活動をしていないと言われるのが嫌で積極的に参加していたら、日本PTA全国協議会より賞を頂き励みになりました。



長男の結婚式、頼もしい4兄弟

現在、長男は消防士として函館地域の人々を守ってくれています。弟達3人は、それぞれ本州に渡り、自分の夢を叶える為日々頑張っています。私も息子達に負けない様に、これから母子寡婦会へ恩返ししながら民生児童委員としても、困っているお母さん、子ども達をサポートし、函館市消防団員としても地域を守って行こうと思います。

富良野市白菊会

川口 邦子

この度は北海道善行賞を頂き、大変ありがたうございます。思いがけない受賞に驚きと嬉しさの気持ちでいっぱいです。又、受賞式では直接、鈴木知事から表彰と二緒に写真撮影をして頂き、非常に貴重な経験で光栄に思います。

今、振り返ると、ひとり親になって19年、近所に住む両親や姉夫婦に支え協力してもらいながら無我夢中で過ごして来ることができました。そんな中、子供達が大学1年、高校3年、高校1年だった4年前、介護福祉士として必死に働いていた頃、乳がんを患い、余儀なく抗がん剤治療で辛い闘病生活が始まりました。けれども、大切な3人の子供



知事と記念写真、筆者は右から3人目

を絶対に大卒卒業させると強い執念を持ち続け、そして、家族をはじめ友人や知人の沢山の励ましのお



家族共通の楽しみ野球観戦
エスコンフィールドにて
右が筆者、次女、長男と



初の飛行機での家族旅行
ディズニーシーにて

陰で過酷な闘病生活を乗り越えることができ、大変に感謝しています。現在は少しずつですが元気になります。時間勤務ができるまでになりました。がんを患ったことで、家族や友人や私が縁する人達をかけたのな存在であり大切にしていかなければならないと思える様になりました。まだ治療は続きますが、これからも自分ができることは、色々させて頂き、沢山の周りの方達に恩返しして行きます。